

帯広市長 米沢 則寿 様

帯広市 市民提案型協働のまちづくり支援事業  
【Motto おび広がる プロジェクト】 令和3年度実施事業申込書

申込日 令和2年 8月31日

提案部門に○印

組織育成部門	<input checked="" type="radio"/> まちづくり活動部門	生活環境整備部門
--------	--	----------

1. 団体について(該当項目に印)

ふりがな	ふうどばれいくらぶ	
(1)団体名	ふうどばれいクラブ	
(2)団体の所在地	〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地 電話番号/FAX 0155-24-4111 / 0155-23-0151 E-mail <a href="mailto:active@city.obihiro.hokkaido.jp">active@city.obihiro.hokkaido.jp</a> HP <a href="http://www.city.obihiro.hokkaido.jp">http://www.city.obihiro.hokkaido.jp</a>	
ふりがな	おび ひろし	おび ひろよ
(3)代表者 及び 連絡担当者	代表者氏名 帯 ひろし 役職 代表	連絡担当者 氏名 帯 ひろよ
(4)連絡先	〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地 3階 電話番号/FAX 65-4130/23-0156	〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地 3階 電話番号/FAX 65-4130/23-0156
(5)設立年月日	令和元年 4月 1日	
(6)会費の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 500 円 / 年・月・1回・その他) <input type="checkbox"/> 無	
(7)構成形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> ボランティア団体 <input type="checkbox"/> 地域の団体 <input type="checkbox"/> その他( )	
(8)構成人数、 主な構成員	20名 (市内に在住・在勤・在学者 5名)	
	ふりがな おび ひろすけ	ふりがな ひろ おびお
	氏名 帯 ひろすけ	氏名 広 おびお
	ふりがな おび ひろこ	ふりがな ひろ おびよ
氏名 帯 ひろこ	氏名 広 おびよ	
(9)団体の目的	子どもとその親を中心に食を通じた様々な人との交流・行動を通じて地域力を高め、個人のスキルアップを図ることを目的に活動を行っています。	
(10)活動内容 活動実績	月2回ほど食育について活動しています。1回は団体内運営を中心に、研究・交流などを目的とし、もう1回は誰でも参加でき地域の人達と交流する学習会を行っています。 ・令和元年〇〇賞受賞(主催〇〇法人)	
(11)保険加入の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (保険会社: 社会福祉協議会のボランティア保険 金額: 300円) <input type="checkbox"/> 無	
(12)帯広市ホームページ内「市民協働アクション」の団体登録の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

## 2. 提案事業について

<p>(1)提案事業名 (テーマ)</p>	<p>「フードバレーフェスタ」事業 ～食育を通じて地域の魅力を伝えたい～</p>
<p>(2)提案事業の 概要</p>	<p>(解決したい課題または把握している市民ニーズ) 少子化や情報化社会の中で、農業王国十勝の中でも体験を通じた食育が十分に行われていない。しかしながら、資源は豊富にあるため、それを活かした体験学習を行いたいという親子の声を多く聞いています。</p> <p>(事業の目的および効果) 身近にある帯広の特産（食・環境・人など）の情報発信やイベントで、子どもや地元の人たちにも十勝の良さ・食育の大切さを体験によって際認識してもらい、帯広を盛り上げていきます。</p>
<p>(3)提案事業の 内容・目標</p>	<p>(事業の内容・実施方法) 1. 十勝B級グルメ「フードバレーフェスタ」の開催 2. 十勝の特産品をPRする広報紙の発行</p> <p>(事業の目標) 身近にある帯広の特産（食・環境・人など）の情報発信やイベントで、子どもや地元の人たちにも十勝の良さ・食育の大切さを体験によって際認識してもらい、帯広を盛り上げていきます。</p> <p>(参加予定人数) 延べ150人</p>
<p>(4)提案事業の 対象者</p>	<p>(対象者) 食に興味がある人たち。特に食育の体験があまりないと思われる、市街地の子どもや親世代の人たち。</p> <p>(広報の方法) コミュニティセンター、協力店などでの掲示、FacebookなどSNSの活用</p>
<p>(5)事業実施期間・ 活動スケジュール</p>	<p>令和3年4月20日から令和4年2月28日まで</p> <p>4月 打ち合わせ・PR紙の作成開始</p> <p>8月上旬 第1回PR紙の発行</p> <p>10月 イベントの実施</p> <p>2月(月上旬) 第2回PR紙の発行</p>

<p>(6) 役割分担</p>	<p>(団体が担う役割) 「フードバレーフェスタ」開催に関する企画・運営・PR 紙の発行</p> <p>(市に期待する役割) 関係機関等の情報提供、HP での広報</p> <p>(関係課) 農政課、観光交流課、経済企画課 その他事業に協力いただける課</p>
<p>(7) 団体と市が協働 で取り組む必要性 及び効果・メリット 等</p>	<p>当団体でも食育の体験学習を行っているが、PR 活動や会場の確保、講師などの人材育成や地域力を高めるには協働事業が必要であると考えています。</p>
<p>(8) 事業終了後の取り 組み予定または成 果の活用</p>	<p>(将来の展望) 今後とも体験を通した食育の大切さを地元の子もたちに伝えていくため、さらなるステップアップやイベントを引き続き行いたいです。この事業により作り上げたネットワークを、広げていきたいです。</p> <p>(今後考えられる収入源) 協賛金、会費</p>
<p>(9) 一番アピール したい点</p>	<p>食育を自分の身近なものとして考えてもらうため、体験学習をメインに行います。大きなイベントを行うことで、普段食育に興味のない人も巻き込めると考えています。 「フードバレーとまち」の推進に寄与できます。</p>

### 3. 収支予算について

(1) 全体予算規模	320,000 円	
(2) 収入の内訳(会費、寄付金、補助金予定額、その他)		
項目	内 容	予 算 額
帯広市補助金		200,000
自己負担金	団体経費から充当	20,000
協賛金		70,000
参加者負担	体験会参加者負担金 (300 円×100 人)	30,000
合 計		320,000
(3) 支出経費の内訳		
項目	内 容	予 算 額
役務費	通信費(切手代等) 15,000 円	90,000
	レンタル料 60,000 円	
	保険料 15,000 円	
講師謝礼	30,000 円×1 名 10,000 円×3 名 (講師紹介票のとおり)	60,000
印刷製本費	広報紙、チラシ、ポスター作成等	65,000
施設使用料	会場費等	40,000
消耗品費	コピー用紙、インク等	65,000
合 計		320,000
(4) 他の助成制度についても利用を検討している場合はご記入下さい。 なし		
(5) 補助要望額	200,000 円	

※事業申込書の記入欄に書き切れない場合は、任意の用紙をご用意いただき添付して下さい。

#### 添付書類(必須)

- 定款・規約・会則等の写し
- 団体の活動がわかる会報やパンフレット

申請者は、帯広市暴力団排除条例第 2 条第 1 号に規定する暴力団、同条第 2 号に規定する暴力団員又は同条第 3 号に規定する暴力団関係事業者ではないことを誓約します。

申請者がこれらの者に該当することが判明した場合には、補助金等の交付の決定の全部又は一部が取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

また、上記の誓約内容を確認するため、帯広市が他の官公署に照会を行うことについて承諾します。